

(別紙 1)

「みやざきデジタル人材育成事業」に係る業務委託 審査基準書

	審査項目	審査内容	配点
ITスキル講座の実施	講座内容	求職者向けと学生向けのそれぞれのターゲットに合った講座内容となっており、受講対象者の興味を引く内容となっているか。	40
	カリキュラム	ITスキル講座の定員、頻度、1回あたりの時間、対面とオンラインの組み合わせなど、運営の内容は適切か。	
		県内IT企業等への就職を見据えた効果的なカリキュラムになっているか。(例えば、学びのアウトプットとしてポートフォリオを作成して、就職活動の際にアピールできるようにするなど)	
	モチベーション管理	カリキュラムに、学習のモチベーションを維持・向上させるような工夫があるか。(例えば、中間目標に資格取得、最終目標に県内IT企業等向けにプレゼンテーションの機会を設定するなど)	
	学習サポート	受講者のITスキルの習熟度を高めるために十分な学習支援体制が整っているか。(受講前の面談、学習進捗管理の可視化、質問回答へのサポート体制の構築など)	
	講師選定	業務の趣旨に沿った適切な講師が選定されているか。	
県内企業への就職支援	支援内容	就職支援のプログラムは、受講者の県内IT企業等への理解向上を図り、各々の進路選択に資する内容になっているか。	20
	実施回数	企業説明会やインターンシップの機会を十分に設定できているか。(各10社以上)	
	県内IT企業等からの協力	本事業を県内IT企業等に対して積極的に周知し、本事業への協力を得られる取組となっているか。	
	フォロー体制	希望者に対して、面談やキャリアコンサルティングの実施、託児サービスの提供体制が整っているか。	
広報・周知及び受講者の確保	広報手段	ITスキルへの関心や県内IT企業等への就職意欲が高い受講者を集めるために効果的な広報手段となっているか。	15
		受講のメリットをわかりやすく伝えられるか。	
本事業全体の運営	体制	業務実施体制は十分か。	15
	スケジュール	目的達成に向けた効果的・計画的なスケジュールとなっているか。	
	経費積算	経費は、経済的な積算となっているか。(※以下の方法で計算し、採点する。) ※＝5×最も低い見積額÷審査対象者の見積額×補正係数	
独自提案		独自提案内容の付加的評価	10
合計			100

【審査方法】

- (1)委員長及び委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2)全ての点数を集計する。
- (3)集計の結果、合計点数が最も高い参加者を委託業者として決定する。
なお、点数が同点の場合は、以下の優先順位に従い決定する。
 - ① 最高点を付けた委員が多いもの。
 - ② 審査員による協議
- (4)合計点数が最低基準点である240点(満点400点×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5)参加者が1者だけの場合、合計点数が最低基準点である240点(満点400点×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価基準(5段階)】※下記を基準に係数を乗じた点数とする。

段階	5	4	3	2	1
評価	標準より非常に優れた提案	標準より優れた提案	標準的な提案	標準よりやや劣る提案	標準より劣る提案